

パスカル・キニャールとの対話

フランスの現代作家パスカル・キニャールが5年ぶりに来日する。今回は、日仏会館での「旅」をテーマにした学術的な国際シンポジウム、長崎での個人的な朗読パフォーマンスの試みの他に、東京大学駒場キャンパスでもささやかな対話の場を設けることになった。五つのテーマを設け、八名の日本人読者がそれぞれの視点でこの多面的な作家に切り込んでゆく。

【プログラム】

15:00 ~ 15:05 開会の辞（桑田光平）

15:05 ~ 15:20 朗読（パスカル・キニャール）

15:20 ~ 15:50 セッション1：「古典」 登壇者：田村隆、日向太郎

15:50 ~ 16:20 セッション2：「エクリチュール（書くこと）」
登壇者：磯崎憲一郎（作家）、青山七恵（作家）

16:20 ~ 16:30 休憩

16:30 ~ 17:00 セッション3：「パフォーマンス」
登壇者：パトリック・ドゥヴォス

17:00 ~ 17:30 セッション4：「音楽」 登壇者：長木誠司、小沼純一

17:30 ~ 18:00 セッション5：「歴史あるいは夜」 登壇者：田中純

18:00 ~ 18:10 閉会の辞

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館ホール日
時：2018年5月12日（土）15時～18時10分
使用言語：日本語（フランス語通訳あり）

主催：科学研究費基盤(B)「「同時代性」の探究：思想史・芸術学・文化ポリティクスからの複合的アプローチ」
(研究代表者：長木誠司)、表象文化論研究室
問い合わせ：kkuwada@chora.c.u-tokyo.ac.jp（桑田光平）